

## 4. 家庭における「する」「見る(観る)」「話す」の効果

※家の人と一緒に運動やスポーツを「する」「見る(観る)」「話す」頻度を、「週1回以上」と「週1回未満」に区分して示した

### 1 家の人と運動やスポーツを「する」「見る」「話す」が児童の運動時間、体力、意識にもたらす効果

家の人と一緒に運動やスポーツを「する」「見る」「話す」頻度の高い集団は、運動時間、体力、意識ともに高い傾向がみられた。

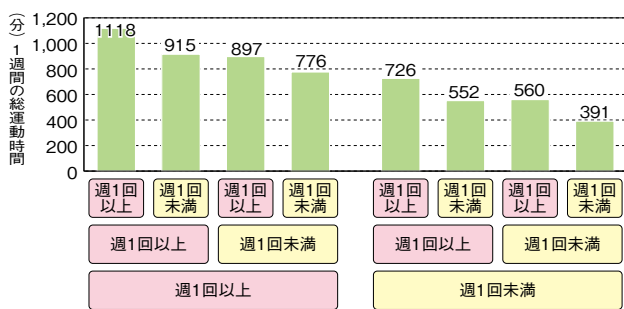
①家の人と一緒に運動やスポーツの話を「する」頻度が「週1回以上」の集団は、「週1回未満」の集団に比べて、男女とも、1週間の総運動時間が長く、体力合計点も高かった。特に、「する」「見る」「話す」がすべて「週1回以上」の集団は、すべて「週1回未満」の集団に比べて、1週間の総運動時間が男子で約730分、女子で約500分長く、体力合計点が男子で約8点、女子で約6点高かった。

②家の人と運動やスポーツの話を「週1回以上」する集団が、運動やスポーツが「好き」である割合と、運動やスポーツをもっとしたいと「思う」割合は、男女とも、「週1回未満」の集団に比べて高かった。

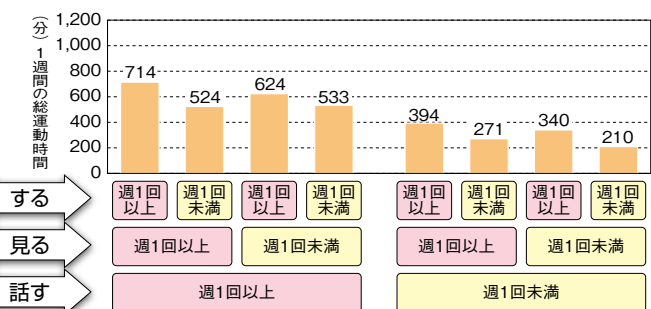
小学校

#### ① 1週間の総運動時間

● 男子

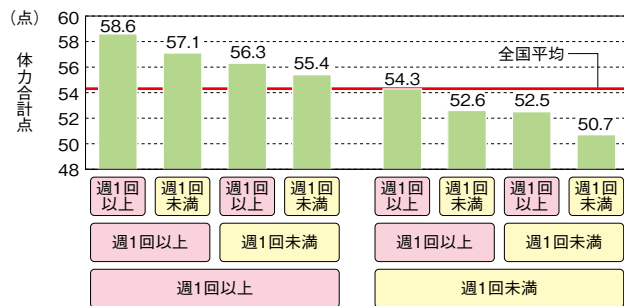


● 女子

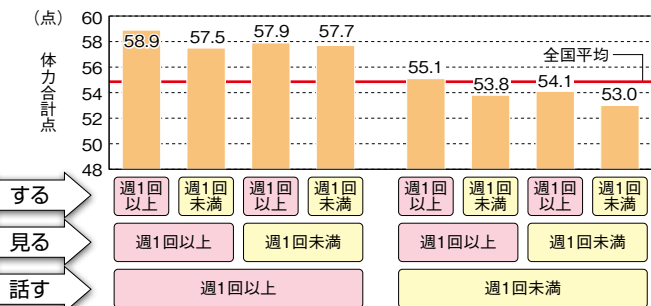


#### ② 体力合計点

● 男子



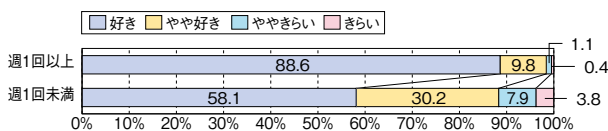
● 女子



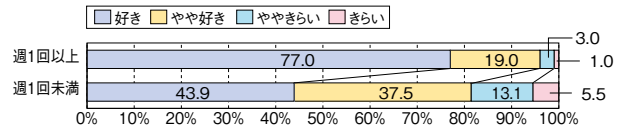
#### ③ 運動やスポーツに関する意識

「家の人と一緒に、運動やスポーツについて話をする」の回答と「運動やスポーツが好きか」との関連

● 男子

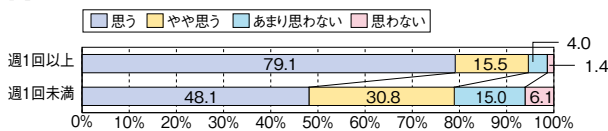


● 女子

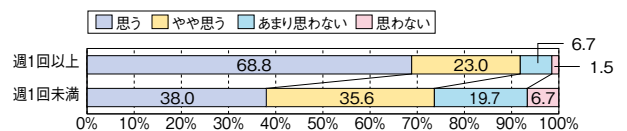


「家の人と一緒に、運動やスポーツについて話をする」の回答と「運動やスポーツをもっとしたいと思うか」との関連

● 男子



● 女子



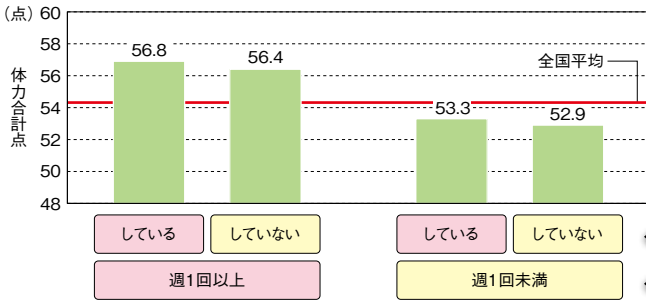
## 2 | 家の人と運動やスポーツを「する」「見る」「話す」と学校と家庭の「連携」の相乗効果

- ①家の人と一緒に運動やスポーツをする頻度が「週1回以上」「週1回未満」それぞれの集団において、家庭との連携がある学校の児童の体力合計点は、連携していない学校に比べて、男女とも、高い値を示す傾向がみられた。
- ②家の人と一緒に運動やスポーツを見る、話すについても同様の傾向であった。

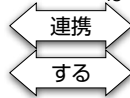
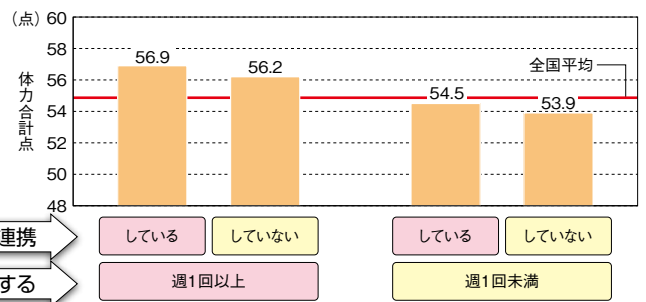
小学校

### ① 家の人と一緒に運動やスポーツを「する」

#### ● 男子

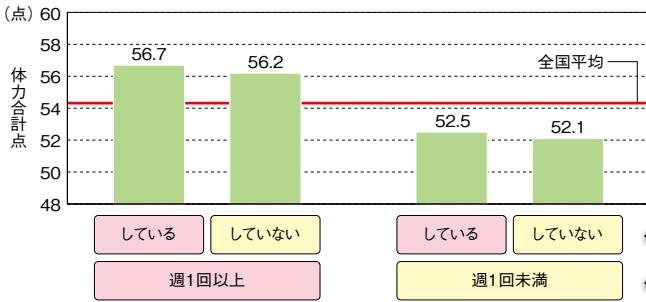


#### ● 女子

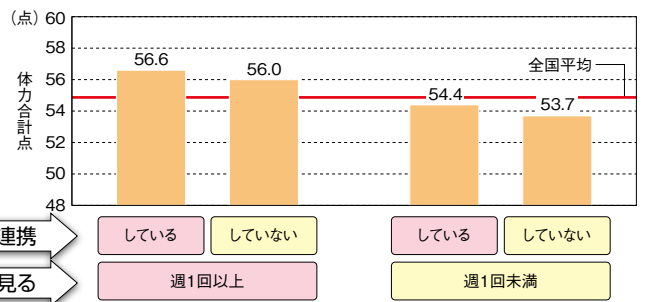


### ② 家の人と一緒にスポーツを「見る」

#### ● 男子

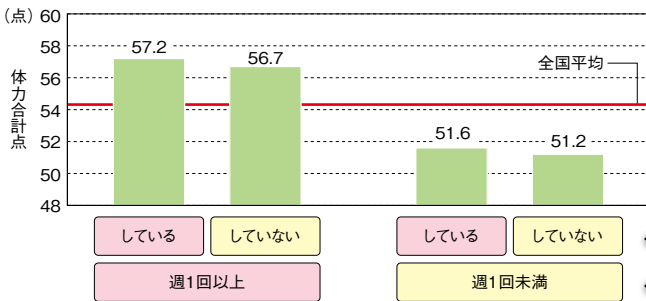


#### ● 女子

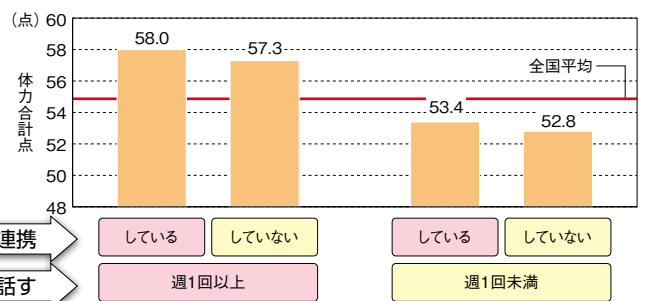


### ③ 家の人と一緒に運動やスポーツについて「話す」

#### ● 男子



#### ● 女子



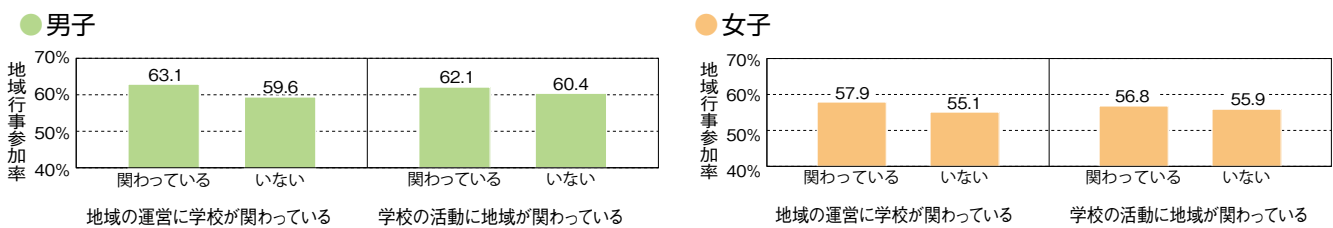
## 5. 地域との連携が児童の運動習慣にもたらす効果

### 1 | 学校と地域の関わりと児童の地域行事への参加状況との関連

- ①地域の運動やスポーツに関する活動の運営に「関わっている」学校の、地域で実施される運動やスポーツに関する行事に「参加した」児童の割合（以下、地域行事参加率とする）は、「関わっていない」学校に比べて、男女とも高かった。
- ②学校が実施する運動やスポーツに関する活動に地域の関係団体が「関わっている」学校の地域行事参加率は、「関わっていない」学校に比べて、男子はわずかに高く、女子はほとんど差がみられなかった。
- ③学校の運動やスポーツに関する活動に地域の人材を「活用している」学校の地域行事参加率は、「活用していない」学校に比べて、男子は高く、女子はわずかに高かった。

小学校

#### ① 地域との連携と児童の地域行事への参加状況との関連



#### ② 地域の人材活用と児童の地域行事への参加状況との関連

